

園長	主任	担任

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・他児とイメージを共有し、協力し合うことを楽しむ。 ・自分の身体の健康に、関心を持つ。 ・自然に触れ、自然の変化を感じる。 	子ども姿	<p>運動会は、日頃と違う姿が見られた。広い慣れない校庭であったが、みんな場に集中し今までより集中力を発揮していた。やったことの達成感、自信が表情や態度に表れていた。運動会後も、生活や遊びの中で意欲的な姿が見られている。</p>	行事	<ul style="list-style-type: none"> ・1日(木)忍者になろう・2日(金)バス遠足・7日(水)芋ほり・8日、22日(木)英語で遊ぼう・16日(金)杉6学芸会、観覧・21日(水)幼児計測・28日(水)他園交流・30日(金)避難訓練
-----	---	------	--	----	---

養護 ○生命・情緒 ／教育 ○健康・人間関係 ・環境・言葉・表現	子どもの活動	環境構成	保育者の援助及び配慮
	<p>【養護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の健康状態を把握し、快適に過ごす。 ・子ども一人一人が意欲的に活動に取り組む。 ・他児と一緒に見通しを持って、生活や遊びを進める。 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康や病気予防に必要な生活を知り、自ら進んで行おうとする。 ・戸外で十分に身体を動かして遊ぶ。 ・周囲の状況や、他児の気持ちを考え行動する。 ・身近な自然物を遊びに取り入れ楽しむ。 ・遊具や用具を大切に扱い、用途に応じ適切に整理整頓をする。 ・身近な自然現象への興味や関心を持つ。 ・身近な小動物や虫にいたわりを持って接し、命の尊さに気づき大切に扱う。 ・自分の思いを伝えたり、他児の思いも聞き会話を楽しむ。 ・見たこと、感じたことを色々な素材や用具を使い表現する。 ・絵本や紙芝居など物語に親しみ、イメージを広げる。 ・他児と一緒に、表現することを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房、加湿器を用いて室内温度計を見ながら環境を整えていく。また、保育室や園庭の安全点検を行なう。 ・子どもの遊びの様子から、興味を考慮し遊具や教材を用意する。 ・見通しが持てるように、カレンダーやクラスのお知らせボードに予定を記す。 ・体の仕組み、健康に関する絵本など用意する。また、手洗いやうがいの時間を十分に設ける。 ・手洗い場の床がぬれていないか安全面に留意する。 ・園庭の遊具の安全点検を、こまめに行う。 ・決まり、マナーについて再確認する場を設ける。 ・異年齢交流など様々な環境を用意する。 ・戸外に出る機会を設けたり、自然物を用いた本を用意する。 ・片付けしやすいように、玩具の量を考慮したり、置き場を明確にしておく。 ・図鑑を用意する ・クワガタの飼育環境を整える。 ・インタビューごっこなど、他児の前で思いを発言する場を設ける。 ・自分から話したい思いを大切に、ゆっくりと話をする機会を設ける。 ・お話会や物語に触れる機会を多く持つ。 ・表現遊びに必要な教材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携を取りながら、子ども一人一人の健康管理に努める。 ・好きな遊びを見つけ、自ら取り組む姿を見守ったり励ましていく。 ・自ら活動を進めていく様子に応じ、一人一人の思いに合った援助を工夫していく。また、その中で他児との兼ね合いや折り合いを経験できるようにする。 ・手洗い、うがい、衣服調節や休息の必要性を繰り返し伝え、自ら気付けるようにする。 ・ルールのある遊びを保育者が提供し、参加したり見守っていく。 ・子どもたちの携わる環境に応じ、全体に決まりを伝えていく。 ・生活や遊びの中で子どもたちの様々な状況を見逃さず、互いの思いを汲み取れるような援助を工夫し、自分の思いだけ通せない時もあることが分かるようにする。 ・異年齢交流の中、年下へのいたわりの気持ちから年上の意識が持てるように、携わる姿を誉めて自信へ繋げる。 ・子どもたちの様々な発想を大切に、遊びに発展しそうな点を見逃さず展開をともに楽しむ。 ・整理整頓の必要性を分かりやすく伝え、保育者が日頃から手本を示していく。 ・季節に合った絵本や図鑑と一緒に見たり、子どもの発見や驚きに共感しながら調べたり、楽しさが味わえるようにする。 ・子どもたちの興味、関心や発見に共感しながら、命について話を大切に扱えるようにする。 ・子ども同士のやりとりを見守り、必要に応じて言葉を補ったり問いかけたり、やり取りが続くよう援助する。 ・子ども一人一人のイメージを大切に、何を作っているのか見守りながら必要に応じ手伝ったり、自分で作った満足感が味わえるようにする。 ・子どもの発想、イメージを大切に、共感したり時に保育者の思いも伝え一緒に楽しむ。 ・歌や台詞や動作から、表現し工夫している姿を保育者が言葉に表し、たくさん誉めて自信へ繋げる。

食育	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食材を用いてクッキングをする。 ・食事のマナーを守り、楽しく食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な用具を準備し栄養士と連携を取る。 ・マナーを分かりやすく、図で表示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら調理して食べる経験を通し、食の楽しさ、いつも調理してくれる方の気持ちを感じたりできるように援助する。 ・子どもたちの食事の楽しい雰囲気大切にしながら、必要な時は声を掛けていく。また、就学に向け時間内に済ませられるように、大まかな時間を伝える。
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所を意識する。 ・衣服の調節、水分補給を自ら行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外で遊ぶときは事前に危険な場所がないように点検する。 ・お茶を常時用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外で遊ぶ前は、決まりを子どもたちに話し必要性を分かりやすく伝える。 ・気温や体調に応じ、子どもたちの声を掛けていく。また、戸外遊びで脱いだ上着は自分で管理するように伝える。

家庭・地域・小学校との連携	月の反省	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊びの上着をご用意して頂く。 ・感染症がはやりやすい時期になるので、子どもの体調を伝え合ったり、感染情報を伝えていく。 		